

## 業界トップシェアを誇る保温保冷工事のリーディングカンパニー 創業99年目に社長就任、人材不足解消の省人化・DXに取り組む 製造業への挑戦で国内初の断熱材加工のロボット化にも成功

保温・保冷工事を手掛け国内トップシェアを誇るナイガイ株式会社（本社：東京都墨田区、代表：浅井 康雄）は、関東大震災の翌月に設立、建物の省エネ化に取り組み100年以上の歴史を誇ります。全国各地のランドマークとなる建築物に携わっており、その実績と積み重ねたノウハウに裏付けられた提案力、保温保冷工事会社として唯一全国展開しているネットワーク（全国26拠点の他、700を超える協力会社）を強みとしています。

2022年に代表取締役社長に就任した浅井は、「会社のため＝社員のため」と考えています。会社を発展させることで、社員、社員の家族、協力会社を守ることができると考えているからです。また、原価意識を社内に徹底することで利益率向上に成功した実績を持ち、人手不足からくる現場省人化の流れを前に製造業へ本格的に参入、断熱材加工の国内初のロボット化を成功させています。現在は、DX化・就業規則の見直しなど、働きやすい環境づくりに取り組んでいます。



氏名	浅井 康雄
役職	代表取締役社長
生年月日	1965年12月16日
出身地	広島県
座右の銘	意識が変われば行動が変わり結果も変わる
趣味	ゴルフ

【略歴】1989年広島電機大学を卒業後、同年4月ナイガイ株式会社 大阪支店に入社。主に保温保冷工事の現場管理に従事し、東京本店長常務取締役を経て、2022年に代表取締役役に就任し、現在に至る。

### 脱炭素で高まる断熱ニーズ・業界の人手不足解消に向け、省人化・DXに挑戦

当社は、保温保冷工事・鉄骨への耐火被覆工事・ダクト工事の3つを主な事業の柱としています。中でも売上の6割を占める保温保冷工事は、専門会社として国内で唯一全国展開しており、業界トップシェアを誇ります。成田国際空港、渋谷スクランブルスクエアをはじめとした全国各地のランドマークで保温保冷工事に携わっています。

脱炭素・カーボンニュートラルの流れから建物の省エネ化のニーズは増しており、今後さらなる需要が見込めるものと考えています。このような状況から、断熱材加工の量産化を目指し、加工・製造業にも挑戦、2023年には断熱材加工で国内初となるロボット化にも成功する他、現場省人化により業界の大きな課題である人手不足を解消すべく、プレハブ化（使用するパーツごとに工場生産したものを現場で組み立てる工法）も進めています。

#### 保温保冷工事とは…

一般的にビルなどの建物で冷暖房を使用すると、冷風や温風は長いダクトを通過して各部屋へ運ばれて行きます。ダクトを通る空気温度を保つために、ダクトに断熱材を施工する必要があり、これを「保温保冷工事」と呼びます。ダクトに断熱材を巻かないと、部屋に到達する前に「冷風が温まる」「温風が冷える」ことになり、冷暖房効率が落ちるため、光熱費に影響し、エネルギー効率も下がることとなります。建物の見えないところで建物を快適に使用するために欠かせない工事です。



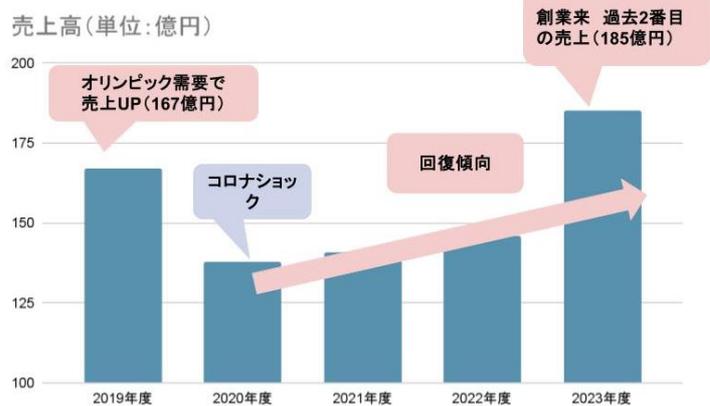
## 大阪から東京への異動が転機に。原価意識の違いに戸惑い、若手を中心に意識改革へ

入社後、大阪支店で長く技術職を経験後、2013年に東京技術部長に就任します。2016年に東京本店長に就任しました。物件のスケール、スピード感の大阪との大きな違いに戸惑いましたが、中でも大きなギャップを感じたのが、大阪時代に徹底的に叩き込まれた原価意識でした。企業である以上、利益を追求しなくてはなりません。しかし当時は、「最低いくら利益を出さないと食べていけない」という意識や、それを突き詰める姿勢も十分ではないと見受けられました。

そこで、原価意識の重要性について部下に伝えるようになります。しかし、自身の考えはなかなか伝わりませんでした。当社の社員は施工管理が主な仕事です。発注元の企業への営業や見積、協力業者の選定、職人とのコミュニケーションまでを担い、一人ひとりの裁量が大きく、決められた仕事のやり方やルールなどはなく、各個人の進め方を尊重するという、自由な社風もありました。そのため、特にベテラン社員の場合は、それぞれの実績や性格からすでに営業スタイルを確立しており、それを敢えて変える必要性も感じていなかったのです。

ベテランクラスの直属の部下にはなかなか受け入れられない状況にあきらめを感じながら、今度は、積極的に若手・中堅社員に原価意識の重要性についてアドバイスを行いました。まだ自身の営業スタイルを確立していない3~7年目の若手社員、もしくは、さらなる成長を望む10年目くらいの中堅社員は、自身の意見を素直に聞き入れてくれました。結果として、若手や中堅の社員が次々と会社に利益をもたらすことになり、そこからベテラン社員たちにも良い影響が広がり、会社全体の意識が大きく変わりました。2019年には、東京オリンピックの需要も追い風となり、創業来過去2番目の売上である185億円を更新しました。

※過去最高売上は、1992年（平成4年度）の187億円



過去5年の売上高推移

## 社長就任後の挑戦、①労働環境の見直し ②製造業に参入、国内初のロボット化に成功

### ①「社員があってこそ会社」「会社があってこそ社員」という方針のもと、労働環境の見直しへ

会社の経営方針である、ALL NAIGAI SPIRITのもと、自身も「社員があってこそ会社」「会社があってこそ社員」と考えています。建設業においては高齢化が進んでおり、若い人にとってより働きやすい環境づくりに取り組む必要もあります。また、当時は建設業の2024年問題（時間外労働の上限規制）も目前に迫っていました。残業時間を削減しつつ、今後更なる売り上げ拡大に向け、業務の効率化や、定着率アップのための労働環境の見直しが求められました。

そこで社長就任後に最初に取り組んだのが就業規則の全面見直しです。創業100年を機に全面見直しに着手、現状の働き方に即したものが、改めるべきところがないかを精査する中で、改めて1964年（昭和39年）に導入した「業務改善制度」を復活させました。業務効率の向上や働きやすい環境づくりなど、社員から提案を募るものです。それまで役員たちで話し合っても、実際に現場で働く社員が、何に不便を感じているのか？それをどう変えてほしいと思っているのか？までを知ることはできませんでした。本制度を復活するにあたり、提案するごとに500円支給、コスト削減、業務効率向上などの会社への貢献度に応じて、+3万円、5万円、10万円と報酬を出すことにしました。結果として、1年間で200以上の提案が集まり、女性向けの相談窓口の設置、勤怠管理システムや車両管理ソフトの導入、経理精算の効率化など新たな提案が実現・導入されました。



100周年記念パーティーの様子



また、同時に大きなメリットとして、普段なかなか顔を合わすことのない地方の社員から直接意見をもらえるという点もありました。社員とのコミュニケーションは今後も積極的に増やしていきたいと感じています。

2024年度は管理職2.5%、組合員5%のベースアップを行いました。来年4月からは、新たな人事評価制度もスタートさせ、より従業員の頑張りが評価される制度に改訂する予定です。

## ② 脱炭素で高まる断熱材ニーズ・人手不足からくる現場省人化に備え、事業承継により、製造業に本格参入

建設業界は深刻な人手不足を抱えており、2025年には、同業界での働き手は約90万人不足するとも言われています。人手不足解消に向け、現場の負担軽減・省人化のため、さまざまな業種でプレハブ化（使用するパーツごとに工場生産したものを現場で組み立てる工法）が進んでいます。プレハブ化が進むことで、施工現場の作業量が格段に削減され、労務費削減・工期短縮にもつながりますが、当社のような断熱材被覆工事を行う事業者にとっては工事の仕事の減少にもつながります。

そこで、新たな事業の柱として、製造業への本格参入に挑戦しました。事業承継により断熱材加工の事業を新たにスタートさせ、昨年は国内で初めて断熱材加工のロボット化に成功しています。脱炭素で高まる断熱材のニーズに応える量産体制を整えることができました。



国内初のロボット化を実現した野田工場

## 昨年はバブル期に次ぐ過去2番目の売上を達成、今後は売上200億円を目指す

昨年は、バブル期に次ぎ、過去2番目の売上を達成していますが、今後は売上200億円を目標にしています。中でも、メインとなる保温保冷工事は全国展開していますが、耐火被覆工事は東京と大阪と北海道、ダクト工事に関しては、東京・大阪・新潟でしか展開できていません。事業規模拡大のため、各事業の全国展開も視野に入れています。

2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにするカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向け、我が国の最終エネルギー消費量の約3割を占める建築物分野においても省エネ化は急務です。建物の省エネ性向上に向け、太陽光発電などの創エネ、断熱による高い外皮性能とともに重要になるのが、消費エネルギーの大きな割合を占める冷暖房などの空調の高効率化です。このような背景から、冷暖房の高効率化を実現する保温保冷工事は今後、更なるニーズが見込めます。同時に、喫緊の課題である建設現場における負担軽減・省人化のためにも、工場での加工品種をさらに増やしていく予定です。

### 【ナイガイ株式会社 企業概要】

2023年に創業100年を迎えた、国内トップシェアを誇る保温保冷工事専門会社です。関東大震災の翌月に創業、震災からの復興により発展、現在に至るまで数々の国内のランドマークとなる建物に携わってきました。保温保冷工事会社として唯一全国展開しており、26の拠点の他、700を超える協力業者とのネットワークを強みとし、国内トップシェアを誇ります。

社名	ナイガイ株式会社
代表	浅井 康雄
所在地	東京都墨田区緑 1-27-8
ホームページ	<a href="https://www.naigai-co.co.jp/">https://www.naigai-co.co.jp/</a>
TEL	03-3635-6211
設立	1923年10月25日
事業内容	保温・保冷工事、耐火被覆工事、ダクト工事、外装工事、一般内装工事

### プレスリリースに関する報道関係者お問い合わせ先

広報事務局 担当：佐藤

TEL：03-3635-6212 E-mail：y-sato@naigai-co.co.jp